

# 蓮の花

フォト劇場 (54)

写真が生まれるのがたり

蓮の花見たことのない孫たちが蓮根の空揚げお代  
りをせり  
神保外子

金沢の兼六園が私の小学校への通学路だった。  
(当時は入場無料) 四季折々の花を賞でなが  
ら朝はまじめに、帰りは少し寄り道をしながら。  
蓮の花は園内の「霞ヶ池」で見たような  
気がするが、よく憶えていない。

「あの蓮の〈白〉に恥ぢるな」出でて征く前の日  
叔父はぼそり諭しき  
藤田倫夫

叔父は二十歳。私は小二。叔父に赤紙が来た。  
出征の前日、叔父は私を連れて家の近くの蓮  
池のまわりを歩いた。寡黙だった。その時の  
短い一言が忘れられない。叔父は沖繩の最後  
の戦いで戦死し、還って来なかった。

写真・木畑紀子



盧遮那仏蓮弁の上おはしまし光与へよわれと親子  
鹿に  
和田佳子

蓮の花という題を頂いて、私は奈良の大仏を見に東大寺に行きました。大仏様は堂々としてやはり蓮の花の上に座っていらつしやいました。仏像など遠い存在でしたが、急に身近なものになりました。

城址に君と目礼かはしし日おもひ出しつつ見る蓮  
の花  
末広芳子

二十の頃ドレメに通っていた。蓮の花の咲く頃は遠回りしてお濠の蓮の花を愉しんだ。時々自転車通勤する青年とすれ違っていたが、ある日目礼を交わした。今思えば私の第二の人生の始まりだったような気がする。